

真亀川事業再評価

平成25年3月7日
千葉県

千葉県県土整備部における公共事業評価制度

目的：県土整備部が実施する公共事業について、事業の効率化及び事業着手から完成に至る過程の透明性の向上を図る



再評価は、5年毎又は社会経済情勢の変化等により
必要が生じた場合に実施

再評価の視点

1. 事業の必要性等に関する視点
 - ① 事業を巡る社会経済情勢等の変化
 - ② 事業の投資効果
 - ③ 事業の進捗状況
2. 事業の進捗の見込みの視点
3. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

↓
対応方針(案)を県が作成

↓
学識経験者等の意見聴取

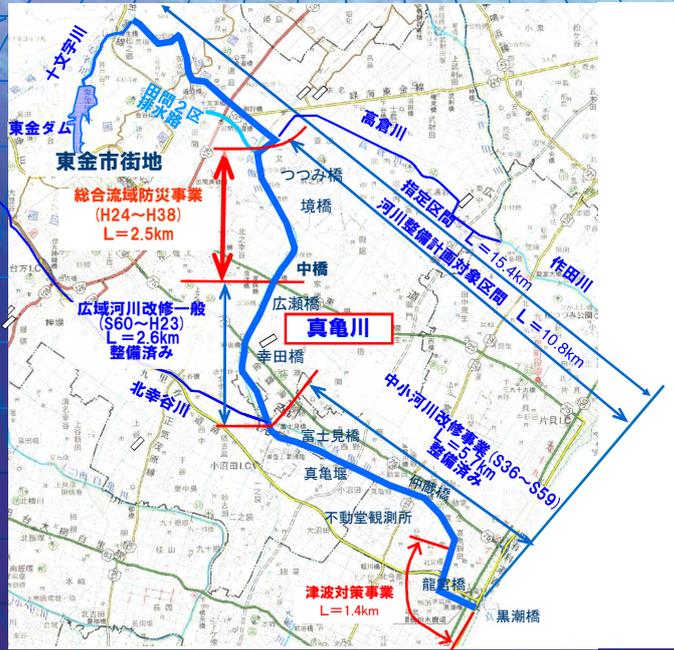
← 流域懇談会

↓
意見を踏まえ、県が対応方針を決定

2



2. 事業内容 ①河川整備計画の概要



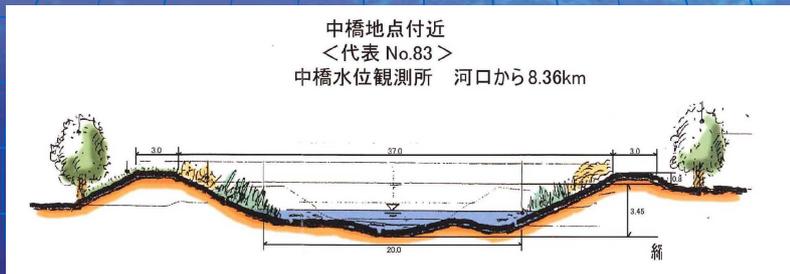
4

2. 事業内容 2河道改修計画

- 河道の拡幅・掘削
- 護岸の改修



改修済の下流区間に対して、
河川整備計画の断面で改修。

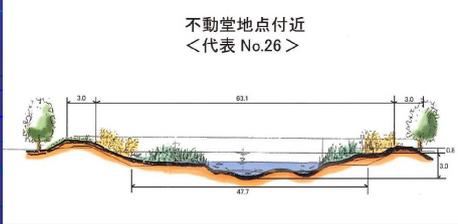


中橋周辺(河口から約8.3km)

5

3. 真亀川の現状(河口～北幸谷川合流点)

③河川の状況



仲蔵橋周辺(河口から約2.6km)

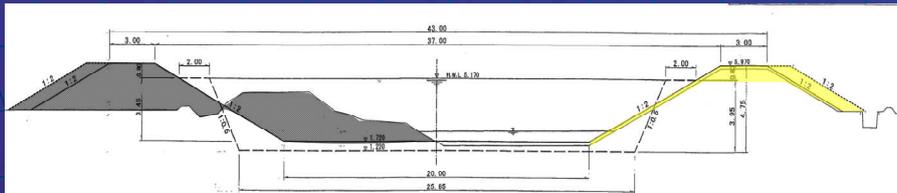
6

3. 真亀川の現状(北幸谷川合流点～中橋)

③河川の状況



中橋周辺(河口から約8.3km)



7